

2022年11月21日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
株式会社三井不動産ホテルマネジメント

中長期滞在への対応などお客様の多様な宿泊ニーズに応える 「(仮称) 築地 4 丁目ホテル計画」着工 - 2024 年秋開業予定 -

三井不動産株式会社(本社 東京都中央区/代表取締役社長 菰田正信)および株式会社三井不動産ホテルマネジメント(本社 東京都中央区/代表取締役社長 雀部優)は、2022年11月18日に「(仮称) 築地 4 丁目ホテル計画」を着工いたしましたので、お知らせいたします。なお、開業は、2024年秋を予定しております。

本計画は、三井不動産株式会社および株式会社岩間本社(本社 東京都中央区/代表取締役社長 岩間章)が所有する土地にホテルを建築し、三井不動産ホテルマネジメントがホテル運営を行うものです。また、1階には株式会社岩間本社が運営する陶器店が入居を予定しております。

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに新たな生活様式が広がり、単に宿泊するだけでなく、ビジネスでのデユース利用やマイクロツーリズム・日々の息抜きなど、お客様のホテルに求める体験価値も多様化しております。本計画は、連泊・中長期滞在を中心に、お客様の多様なニーズに応えるホテルを目指します。また、三井ガーデンホテルズは、2022年11月にリブランディングし、ビジネスだけでなくレジャーやリフレッシュニーズに応えるサービスや企画の導入を行ってまいります。本計画は、新たなブランドタグライン「Stay in the Garden」を表現するホテルとして推進してまいります。

本リリースのポイント

- ・東京メトロ日比谷線「東銀座」駅・「築地」駅至近の観光に適した利便性高い立地に 2024 年秋開業予定。
- ・新ブランドタグライン「Stay in the Garden」をハード・ソフト面において表現。
 - 多様化するホテル滞在ニーズに応えるため、全客室に洗濯機や音響機器を設置し、快適な滞在をサポート
 - レストラン、大浴場やフィットネスに加え、カフェやリフレッシュスペースも設け、ホテル内での過ごし方の幅を広げる共用部



ロビーイメージパース



コーナールームイメージパース

■ 「(仮称) 築地 4 丁目ホテル計画」の特長

(1) 立地

本計画地は、東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座駅」、東京メトロ日比谷線「築地駅」より徒歩 3 分と交通利便性に優れ、築地本願寺や築地の場外市場、銀座エリアからもアクセスしやすい立地です。また、周辺では、築地市場跡地の再開発も予定されており、将来のさらなる活性化が想定されます。

このような立地特性から、ビジネスから観光目的まで幅広い利用目的に対応したホテルの開業を目指してまいります。

(2) 客室

三井ガーデンホテルズ初となる、全客室へ洗濯機・電子レンジ・冷凍冷蔵庫などを完備し、連泊や中長期滞在のお客様を中心により快適な日常を過ごしていただける空間の提供を目指してまいります。

また、音質にこだわった音響機器を設置し、テレビへのキャスト機能も標準装備いたします。キッチン付きのフォールームも予定しており、これまでの三井ガーデンホテルズに比べ、よりレジャーやご家族で滞在しやすい空間といたします。

(3) 共用部

最上階のレストラン、お仕事利用も可能なリフレッシュスペース、滞在中の疲れを癒す大浴場、汗を流せるフィットネスジム、また、ロビーにはカフェを併設し、1 つのホテル内に多様な共用部を計画しております。働く、住まう、憩うなど様々な利用用途に合わせた使い方が可能となります。

また、ホテルの玄関となるロビーに併設したカフェは、宿泊者だけではなく近隣居住者などにも利用いただけるような設えにしており、街に開かれたホテルを目指してまいります。

(4) デザイン、サービス

お客様がストレスなく滞在ができるよう、“自宅に居るように暮らすことができる”空間設計、サービスを導入してまいります。自然とのつながりを感じることができるよう、客室バルコニーやロビー空間に植栽を配置するなど、都心にいながらもリラックスできる空間を演出します。

また、滞在者にとって居心地の良い便利なサービスの導入や、無駄のないチェックイン方法などお客様がリラックスできるようなホテル滞在を演出します。

■ 三井ガーデンホテルズの新しいブランドタグライン 「Stay in the Garden」

手入れの行き届いた潤い溢れるガーデンのように、
上質なときめきと、くつろぎに満ちた、最高の時間がすごせるホテルを実現したい。
その地の感性に耳を傾け、一つひとつ趣の異なる個性豊かなホテルをしつらえ、
豊かさや潤いを、お客様に心からご実感いただけること。
それが、私たち三井ガーデンホテルズの目指しているガーデンステイです。

“三井ガーデンホテルズの名のごとく、Garden のように安心できる守られた空間で、その地域らしさや自然を感じながら、自分の内面と向き合ったり、大切な人との時間に目を向けたりできる豊かで潤いのある滞在を提供したい”、そのような思いから上記のブランドステートメントを定めました。そして、このステートメントの元、これからの三井ガーデンホテルズを体現するワードとしてブランドタグラインを「Stay in the Garden」と制定しました。

三井不動産ホテルマネジメントの展開するホテル



三井ガーデンホテルズでは“ガーデンのような豊かさと潤いのある滞在体験を提供したい”という想いから、ブランドタグラインを「Stay in the Garden」と定め、国内外で34施設、約1万室を提供しています。全国各地の地域性を大切に個性豊かなデザインと「楽しみになる朝食」をご用意し、ビジネスユースだけでなく、レジャー、リトリート、リフレッシュ、長期滞在等、様々なシチュエーションでお楽しみいただけます。

また“滞在そのものが目的となるデスティネーション型ホテル”を掲げた『ザ セレスティンホテルズ』を3施設、自分のスタイルで、“自由な時間と、過ごし方”を愉む次世代型ライフスタイルホテル『sequence』を3施設展開。三井不動産ホテルマネジメントは、「記憶に残るホテル」「感性豊かなお客さまの五感を満たすホテル」という理念・コンセプトのもと、多様なニーズに応えるブランド展開をしています。

■ 計画概要(予定)

所在地	東京都中央区築地四丁目2番5 他4筆
敷地面積	761.06 ㎡
構造規模	S造(一部RC造)・地上14階地下1階
延床面積	8,347.81 ㎡
客室数	183室
設計・施工	三井住友建設株式会社
開業	2024年秋(予定)
ホテル付帯施設	レストラン・バー、カフェ、大浴場、フィットネス、店舗

【添付資料①】位置図



【添付資料②】「三井不動産9BOX感染対策基準」について

三井不動産グループでは、安心して当社グループの施設をご利用いただくために、医学的・工学的知見に基づくわかりやすい感染対策が必須と考え、グループ共通の「三井不動産9BOX 感染対策基準」を策定し、施設ごとの新型コロナウイルス感染対策を徹底しております。当社グループはオフィスビル、商業、ホテル、リゾート、ロジスティクス、住宅等、多様な施設を展開しており、当社グループだけでなく社会全体で共有しやすい項目として提示することで、社会共通の課題解決に貢献したいと考えています。

当社グループは引き続き、安心・安全な街づくりを通して持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

※参考リリース：https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1001_01/

三井不動産ホテルマネジメントの衛生に関する取り組み

<https://corp.gardenhotels.co.jp/hygiene/>

三井不動産 感染対策基準



【添付資料③】三井不動産グループのSDGsへの貢献について https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記のとおりグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

* 本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における1つの目標に貢献しています。

目標 11 住み続けられるまちづくりを

